

石川県公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における  
教職員の多忙化改善に向けた取組方針（改定案）

＜改定前との比較＞

- 新たに追加する : 各学校において効果のあった取組や提案の多かった取組のうち、新たに追加したもの。
- さらに一歩進める : さらに積極的に取り組むことで効果が期待できるもの。
- 継続検討より格上げ : 継続検討としていた取組のうち、実施に移すもの。

5 具体の取組  
(1) 統一的な取組と環境整備

改定案	改定前との比較
○県内の全ての学校で、学校ごとに月2回以上の「定時退校日」を設定する。なお、月2回以上の設定が困難な場合は、一斉の定時退校日を1回とし、個別の定時退校日を1回以上設定することも可とする。	さらに一歩進める
○県内の全ての学校で、学校ごとに設定している「最終退校時刻」の目標について、各学校の実態に応じてできる限り前倒しに努める。	さらに一歩進める
○夏季休業期間の旧盆を含む1週間を県内一斉の「リフレッシュウィーク」に設定し、本ウィーク中に各教育委員会又は学校ごとに、連続する4日間以上の学校閉庁日を設ける。 ・本ウィーク期間中、教育委員会や関係団体が主催する会議等、及び各学校における会議・校内研修は実施しない。また、学校閉庁日に部活動は実施しない。 ・学校閉庁日には、電話等による外部からの問合せに対応できるよう連絡先を確保しておく。	さらに一歩進める
○教職員は、長期休業期間の利用などにより、年次有給休暇の年間5日以上の実質的な取得に努めることとし、管理職はそのための環境整備を図る。	新たに追加する
○教職員の勤務時間の現状や多忙化改善に向けた取組について、様々な機会を通じて保護者や地域の方々の理解と協力を求める。	
○平日については最終退校時刻30分前から、土日・休日については終日を目途として留守番電話対応とし、保護者等に周知する。加えて、緊急連絡先にも不急な連絡は控えてもらうよう依頼する。	継続検討より格上げ
○PTAや地域団体が主催する行事や会合等について、関係者に理解と協力を求め、開催日数や時間等の縮減を図る。	新たに追加する
○朝の通学路における安全指導については、国の通知で示されているように、原則として教職員は行わず、地域の方々によるボランティアをお願いすることとし、理解と協力を求める。ただし、交通安全週間等の期間を除く。	新たに追加する
○県内の全ての学校で、重点目標や経営方針に教職員の働き方や業務改善に関する項目を設け、学校評価の評価項目の一つとして、継続的に評価・改善を行う。	
○人事評価の項目に教職員の働き方や業務改善の意識に関する視点を付加したことを踏まえ、教職員の意識改革をさらに進める。	継続検討より格上げ

(2) 教育委員会における取組

改定案	改定前との比較
<p>【県教育委員会】</p>	
<p>○実施する調査・照会や学校に作成を求める各種計画書・報告書、会議や研修の事前課題等について、さらに整理・統合及び報告様式等の簡略化・電子化を進める。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○市町教育委員会や学校ごとに様式が異なる学校備え付けの表簿等の様式の電子化・標準化をさらに進める。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○新学習指導要領実施に向けた小学校における授業時数の増に対応し、国の加配定数を活用して小学校英語専科教員の配置を順次拡充する。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○スクールカウンセラーや部活動指導員、スクール・サポート・スタッフの配置を国の補助事業を活用して順次拡充する。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○主催する会議の整理・縮減を図るとともに、参加者の移動時間を短縮するための地区別開催、小規模校教職員に配慮した参加体制の工夫をさらに進める。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○研究指定校の指定校数が増大しないよう適切に管理するとともに、事前案内、成果発表会及び発表資料の簡略化・簡素化をさらに進める。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○教職員研修において、集合型研修が増大しないようボリュームを適切に管理するとともに、ライブ配信やオンデマンド配信をさらに拡充する。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○管理職研修や初任者研修等の基本研修において、働き方改革に関する内容の充実を図り、教職員の意識改革をさらに進める。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○「若手教員早期育成プログラム」の実施を通して、若手教員のスキル向上を図り、授業準備等に要する時間や負担感の縮減につなげる。</p>	
<p>○県立学校において、国のGIGAスクール構想に基づきタブレット端末等のICT環境整備を推進するとともに、統合型校務支援システム、OA機器の導入・更新を計画的に進め、授業準備や事務処理等の効率化を図る。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○スマートスクールネットを活用し、良質な教材の共有化をさらに進める。</p>	<p>さらに一歩進める</p>
<p>○生徒個人での行事参加や作品応募については、学校を通さず希望者個人による直接申込にするなど、工夫に努める。</p>	<p>継続検討より格上げ</p>

改定案	改定前との比較
【市町教育委員会・教育事務所等】	
○市町教育委員会が実施する調査・照会や学校に作成を求める各種計画書・報告書、会議や研修の事前課題等について、さらに整理・統合及び報告様式等の簡略化・電子化を進める。	さらに一歩進める
○主催する会議や研修等について、さらなる整理・縮減とともに、県教育委員会主催のものと内容と時期が重複しないよう精選するほか、小規模校教職員に配慮した参加体制の工夫を進める。	さらに一歩進める
○学校訪問の回数・内容の見直しや事前準備の簡素化を進めるとともに、市町教育委員会及び教育事務所において可能な限り共同で実施するなど、さらに改善を図る。	さらに一歩進める
○研究指定校の指定校数が増大しないよう適切に管理するとともに、事前案内、成果発表会及び発表資料の簡略化・簡素化をさらに進める。	さらに一歩進める
○市町教育委員会が主催するスポーツ大会、体験活動、各種事業・イベントなど対外行事について、その精選や事前準備の簡素化をさらに進めるとともに、各種団体が主催する大会や行事等への参加についても精選に努める。	さらに一歩進める
○国のGIGAスクール構想に基づきタブレット端末等のICT環境整備を推進するとともに、OA機器の導入・更新を計画的に進め、授業準備や事務処理等の効率化を図る。	さらに一歩進める
○市町教育委員会連合会において、県内における統合型校務支援システムの整備に向けた検討を進める。	継続検討より格上げ
○適切な勤務時間管理を行うため、多忙化改善の取組の進捗状況を踏まえながら、ICTやタイムカード等の導入を順次進める。	継続検討より格上げ
○市町単位でも教材等の共有化ができるよう環境整備に努める。	新たに追加する
○部活動指導員やスクール・サポート・スタッフ、支援員などの配置を国の補助事業等を活用して、順次拡充する。	さらに一歩進める
○コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を進めるにあたっては、地域と学校との連携・協働体制の調整業務等を担うコーディネーターの配置を進める。	さらに一歩進める
○学校給食費等の徴収管理業務の公会計化を順次進める。	継続検討より格上げ
○共同学校事務室の設置又は事務の共同実施に向けて、調査・検討を進める。	継続検討より格上げ
○児童生徒個人での行事参加や作品応募にあたっては、学校を通さず直接申し込むようにするなど、工夫に努める。	継続検討より格上げ
○外部から依頼される児童・生徒への配布物について、種類の精選や配布方法の工夫について、関係機関に理解と協力を求める。	新たに追加する

(3) 学校における取組

改定案	改定前との比較
<p>○各学校における時間外勤務の実態、基本方針や達成目標を十分に踏まえ、以下に示す取組例や業務改善取組事例集などを参考に、各学校においてその実情に応じて具体的取組を積極的に進める。</p> <p>&lt;主な取組例&gt;</p> <p>【勤務時間の管理に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全県下で取り組む定時退校日とは別に、学校独自のノー残業デーを設定する。</li> <li>・学校で決めた時刻に退校を促す放送を流す。</li> </ul> <p>【意識改革に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとに時間外勤務の縮減や業務改善に向けたスローガンを設定する。</li> <li>・ワークライフバランスやタイムマネジメントについての学習会を開催する。</li> <li>・校内の提案文書や報告書等については、過度に詳細なものとならないように工夫する。</li> </ul> <p>【会議・校内研修に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議の実施方法等を工夫する。 (回数や制限時間の設定、資料事前配付、参加者の厳選、会議資料等の1ペーパー化、タブレット端末を活用したペーパーレス など)</li> <li>・類似内容を扱う校内委員会等の合同設置や構成員の統一を図る。</li> <li>・校内研究や教科教育研究会に係る研究発表会や報告書作成等の簡略化・簡素化を図る。</li> </ul> <p>【学校が行う調査や連絡に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査について、マークシート利用などにより効率化を図る。</li> <li>・学校便りや学級便り、PTA便り等を整理統合する。</li> </ul> <p>【校務分掌・学校行事・日課に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の統合・削減や事前準備の簡略化・簡素化を進める。</li> <li>・同窓会と協議し、学校の創立記念など周年行事関連業務の簡素化を図る。</li> <li>・夏季休業中のプール開放を、旧盆前まで(学校閉庁日前まで)とする。</li> <li>・校内の各種運営計画(学年計画、学級経営計画など)の重複をなくし、簡略化・簡素化する。</li> <li>・教師用タブレット端末や校内WEB掲示板、予定黒板等を活用し、職員朝礼の回数や時間を縮減する。</li> <li>・定期試験日前後に時間割を工夫し、問題作成・採点の時間を確保する。</li> <li>・授業準備の時間や休憩時間の確保を図るための工夫を行う。 (ランチルームにおける複数学級の一斉給食の実施 など)</li> <li>・夏季休業期間のサマースクールや補習のうち、目的があいまいなものや効果が低いものについては廃止する。</li> </ul> <p>【環境整備・ICT化に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室のレイアウトを見直し、業務を効率化する。 (机やプリンター等の配置、資料収納スペースの整理等)</li> <li>・机上の整理・整頓を定期的に行い、業務の効率化を図る。</li> <li>・個人が作成した教材・資料等の電子データを学年や教科で共有する。</li> <li>・校内で作成する保護者向け通知文や研修報告書などの作成文書について、様式の電子化・標準化を図る。</li> <li>・出張回・復命書等の庶務関係書類の電子化・簡素化を図る。</li> <li>・校内サーバーでのデータの保存ルールを統一し、活用しやすい環境をつくる。 (ファイル名や保存場所の整理 など)</li> </ul> <p>【地域との連携に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の見守りや校庭の除草作業、庭木の手入れなどを地域ボランティアの協力を得て実施する。</li> <li>・保護者や地域の方々などに対する学校行事等のお礼については、当日に直接伝えることとし、改めてお礼状を送付しないこととする。</li> </ul> <p>【業務の平準化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間勤務となっている職員の業務を他の職員に割り振ったり、繁忙な時期の業務の実施時期を変えるなど、業務の平準化をさらに推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭や主任等の業務のうち、他の職員でもできることを割り振る。</li> <li>・校務分掌を細分化し、一人が担う業務を明確にすることで、特定の者がまとめて行っていた業務を分散させる。</li> <li>・年度当初の業務や学校行事の提案等、その他の定例業務を前年度末までに処理するなど、繁忙期の負担軽減を図る。</li> </ul> </li> </ul> <p>○県教育委員会が指定する多忙化改善実践推進校においては、教職員の意識改革や業務の見直しなどに率先垂範して取り組み、その成果や課題を丁寧に検証し、他校の取組の充実に繋げる。</p>	<p>新たに追加する</p> <p>新たに追加する</p> <p>新たに追加する 新たに追加する 新たに追加する</p> <p>継続検討より格上げ</p> <p>新たに追加する</p> <p>新たに追加する</p> <p>新たに追加する</p>

